

S
H
I
O
N
I
N
A
N
Z

BELLMARE

BEACH SOCCER

2 0 0 9



主催：(株)湘南ベルマーレ・NPO 法人湘南ベルマーレSC
湘南ひらつかビーチクラブ・日本プロサッカーリーグ
協賛 湘南平塚ビーチクラブ

1. 競技の目的

本競技は、地球環境保護の意識を持ち、レクリエーションとチームワーク、友情そして健全な競争に基づいて実施される。ゆえにフェアプレイ精神は、最も尊重されなければならない。

2. 競技エリア (別図参照)

フィールド(ピッチ)とフリーゾーンからなる。

2-1 フィールドのサイズ

L 37m×W 28m。

2-2 ペナルティーエリア

◆ 各コーナーから中央に向かってそれぞれ9mのタッチライン上に旗を置く。ゴールラインからこの旗までのコート内全地域がペナルティーエリアとなる。ただし、2本の旗を結ぶペナルティーエリアラインは引かない。

◆ ペナルティーエリア内では、ゴールキーパーはボールを手で処理できる。

◆ ペナルティーキックは、このペナルティーエリアのライン上から行う。

2-3 コーナーとハーフウェイ

各コーナーとハーフウェイのフリーゾーンには旗を置く。ハーフウェイラインは引かない。

2-4 ゴールのサイズ

H 2.2m×W 5.5m (ビーチサッカー専用)のゴールを使用する。

3. ボール

ボールは、公式ビーチサッカーボール(5号球)を使用する。(主催者側で準備します)

4. チーム構成

試合は、ゴールキーパーを含め、最大5人からなる2つのチームが対戦する。交替選手は最大5人。交替回数に制限はなく、原則として同じ選手が何度でも出場できる。

4-2 最低出場選手数

各チームは常に3人以上の選手がプレイしていなければならない。同チームにすでにイエローカードによる出場停止あるいはレッドカードによる退場者が同時に2人いて、さらにイエローカードなどにより出場できなくなった選手は、直ちに他の選手と交替し、3人目の出場停止選手は、その試合の残り時間には出場できない。

4-3 最低出場可能選手数

出場可能な選手が、2人となったチームは、それまでのスコアにかかわらず、0対5の敗戦とする。

5. 審判

審判団は、審判とタイムキーパーからなる。なお、審判の判定に対する抗議は一切認めない。

6. ユニホームと用具

6-1 ユニホーム

◆ 各チームのユニホームは、同一色のシャツとし、試合の都合上、白色とその他の色の2種類をあらかじめ用意しておくこと。

ビブスの貸し出しあり

◆ シャツの背中には、両方の色ともに同じ背番号をはっきりと見えるように付けること。

6-2 使用禁止用具

◆ 他の選手へのけがの原因となるようなシューズ、用具、アクセサリーの着用は禁止する。(裸足でプレイが原則・サポーターとソックスとテーピングは可)

7. 試合開始・試合時間

7-1 試合開始

◆ 試合直前に両チーム主将のコイントスによって、エンドとキックオフするチームを決める。

◆ キックオフの際、相手チームの選手は、ボールから最低5mは離れていなければならない。また直接シュートは認めない。

7-2 試合時間

◆ 競技時間は8分ハーフとし、ハーフタイムは2分間とする。

◆ 決勝トーナメント実施の場合のみ同点の場合、3名によるPK戦~どちらかが外すまで決着をつける。

8. 勝敗決定の方法

8-1 予選リーグ

◆ リーグ戦方式。

◆ 順位決定は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点によって行う。

◆ 勝ち点が同点の場合は、得失点差→総得点→直接対決成績→コイントスにて上位を決定する。

8-3 決勝ラウンド

各ブロックの1位2位の計8チームが31日の決勝ラウンドに進む。

31日の決勝ラウンドは4チームのリーグ戦を行い各リーグ成績上位2チームが準決勝に進出する。

- ◆ 決勝戦のみ終了時点で同点の場合は、5分ハーフでVゴール方式の延長戦を行う。
- ◆ それでも決定しないときは、上記と同様のPK戦（一人目からサドンデス）を行う。

9. 反則

9-1 直接フリーキック

- ◆ 下記①～⑤の反則があった場合、相手チームに直接フリーキックが与えられる。
- ◆ 自陣で反則を犯した場合、同じチームのゴールキーパーを除く全選手は、相手のフリーキックが終わるまで、ボールとゴールを結ぶ線上にいてはいけない。また、ボールから5m以上離れなくてはならない。

- ① 相手チームの選手を蹴ったり、足を引っ掛けたりしたとき
- ② ボールを持っていない選手に後ろから接触したとき
- ③ 相手チームの選手を掴んだり、押したり、妨害したとき
- ④ ゴールキーパーエリア内のキーパーを除き、ボールを故意に手や腕で扱ったとき
- ⑤ 相手チームの選手や審判、競技役員、その他の参加者などに暴力的な言動をしたとき
- ⑥ ボールへのスライディングタックルは許される。

9-2 イエローカード

審判は下記の①～⑥のような場合、当該選手にイエローカードを提示する。

- ① 故意による遅延行為
- ② 競技規則の度重なる違反
- ③ 選手交替の際、出る選手より先に入場したとき（相手チームにセンターライン上よりフリーキックを与える）
- ④ 審判が重大な反則と認めたとき
- ⑤ 審判の判定に対して、不服を表す言動をした

とき

- ⑥ スポーツマンシップに反する行為

9-4 レッドカード

審判は、下記の①～③のような場合、当該選手にレッドカードを提示し、提示された選手はその試合の残り時間及びその次の試合の出場を停止する。

- ① 相手チームの選手や審判、競技役員、その他の参加者などに暴力的な言動をしたとき
- ② 審判が重大かつ悪質な反則と認めたとき
- ③ 同試合で2枚のイエローカードを出されたとき

9-5 失格

次のような場合、そのチームを失格とし、その試合を含む以降の試合出場を禁止する。

- ① 登録されていない選手が出場し、それを審判が認めたとき。
- ② 出場可能な選手が3人に満たないとき
- ③ スタートメンバーが5人に満たないとき
- ④ 試合開始時間までに選手が整列しないとき
- ⑤ レッドカードによる退場者が同一チームから累積2人となったとき
- ⑥ その他大会実行委員会が失格と認めた時

10. フリーキック

キックイン及びゴールキックを除き、直接フリーキックとする。

10-1 リスタート

キックイン、ゴールキック、コーナーキック、ペナルティーキックを含むすべてのフリーキックの場合、選手の希望により、リスタート地点の砂の位置を高くしても良い。

10-2 バックパス

フリーキックあるいは試合再開のとき、キーパーへのパスは1回までとする。続けて行った時は、相手チームにハーフウェイライン上から直接FKが与えられる。（手でキープした場合）

10-3 フリーキックの成立

フリーキックあるいは試合再開のとき、蹴ったボールをキッカー以外の選手にボールが触れる前に、キッカーが再度触れたときは、相手にフリーキックが与えられる。

10-4 「かべ」の禁止

フリーキックの場合、キーパーを除き、ボールとゴールの延長線上に相手チームの選手は入ってはならない。

11. スローイン及びキックイン

- ◆ 選手がタッチラインより外側にボールを出したときは、ボールが出た地点から相手側チームのスローインまたはキックインで試合を再開する。(どちらかを選択)
- ◆ キックインのボールが誰にも触れずにゴールに入っても得点とはならない。

12. ゴールキック

- ◆ 攻撃側の選手が蹴ったボールが敵陣のゴールラインを超えてコート外に出たときは、相手側のキーパーがゴールエリア内から手または足によって試合を再開する。
- ◆ このときキーパーが蹴ったボールが直接ゴールに入っても得点にならない。

13. コーナーキック

- ◆ 守備側の選手が自陣のゴールラインからコート外にボールを出したときは、相手チームにコーナーキックが与えられる。
- ◆ コーナーキックは、コーナーポストから半径40cm以内のフィールド内から蹴らなければならない。
- ◆ このとき直接ゴールに入ったときは、得点となる。

14. ペナルティーキック

- ◆ 自陣ゴールエリア内で反則を犯したときは、ペナルティーキックが相手チームに与えられる。
- ◆ キッカーは、ペナルティーライン(旗と旗を結ぶライン)上の任意の地点からキックすることができる。
- ◆ ペナルティーキックの場合キッカーとキーパー以外の選手はペナルティエリアに入ってはならない。

16. ボール拾い・得点係サポート

- ◆ 対戦表に記載されたサポート担当チームは試合開始に遅れないように担当確認に注意すること。

